

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 743 号	氏名	井 隆司
学位審査委員	主 査	梅田正博	
	副 査	池田通	
	副 査	伊藤公成	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、現在臨床において未だ明確な治療法のない放射線性口腔粘膜炎に対する細胞治療の効果を評価したもので、その研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 放射線性の口腔粘膜炎のモデルとしてマウスの舌で舌炎モデルを作出しているが、放射線障害程度は口腔粘膜炎モデルとして妥当であり、用いた細胞も適切な抽出、移植ができています。またその組織染色をはじめとする細胞治療効果の評価方法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 放射線性口腔粘膜炎の肉眼的所見、組織学的・免疫組織化学的観察、また移植細胞の性質を解析した結果、骨髄由来細胞 (BMDC) の静脈投与による細胞治療効果が認められることを明らかにし、今後の放射線性障害(口腔粘膜炎、唾液腺萎縮、顎骨壊死等)への網羅的な細胞治療研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、放射線性口腔粘膜炎に対する骨髄由来細胞を用いた細胞治療の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。</p>			